

平成27年度

「地域連携型インターンシップ」

アンケート集計結果（学生対象）

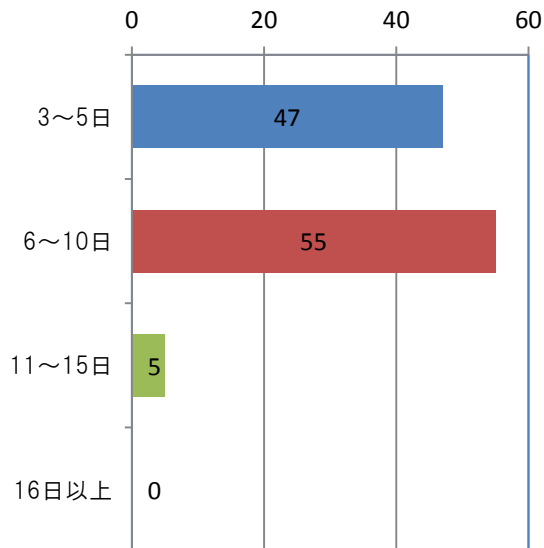
北九州地域産業人材育成フォーラム

平成27年11月20日

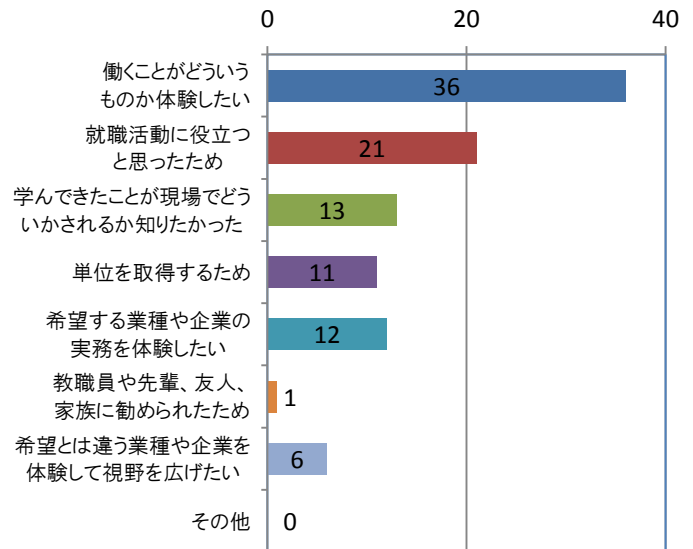
1. アンケート概要

実施期間 平成27年8月17日～11月30日
 対象者 平成26年度 インターンシップ参加学生 118名
 回答数 107名 (回収率 90.7%)

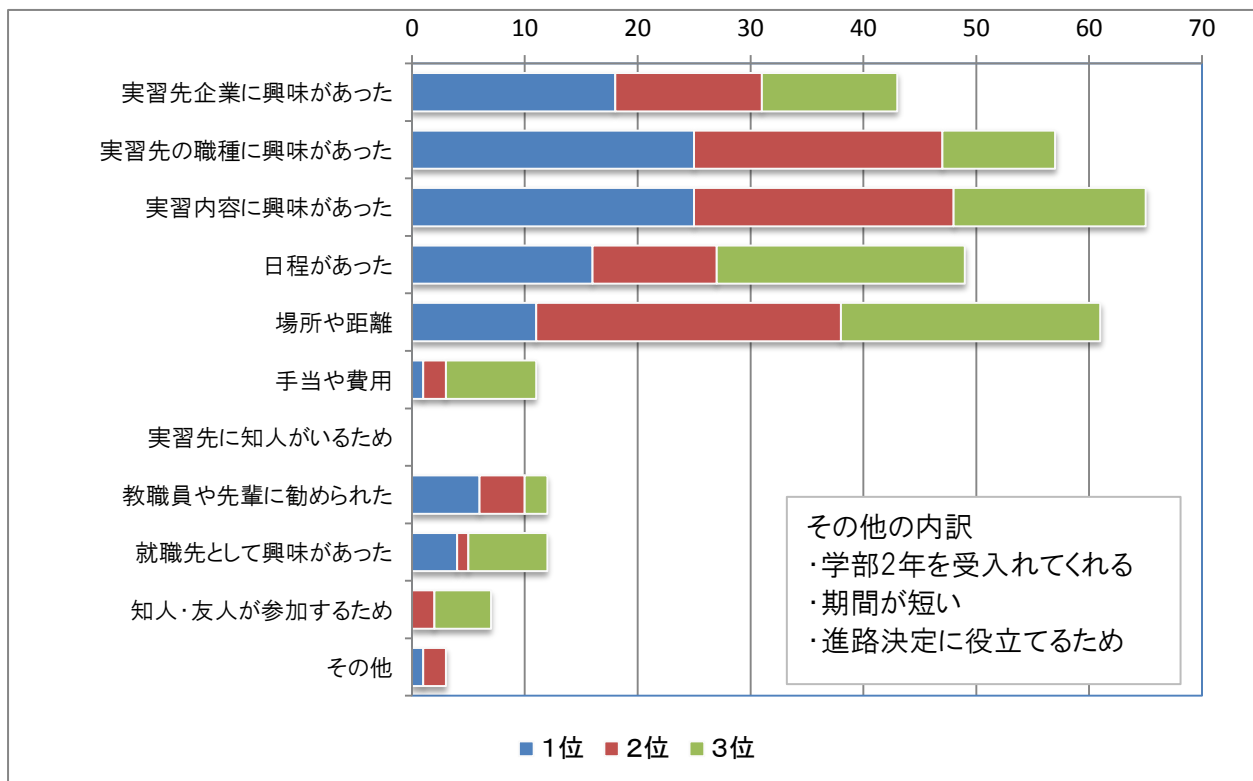
2. 実習日数(実働日数)について



3. 参加動機について



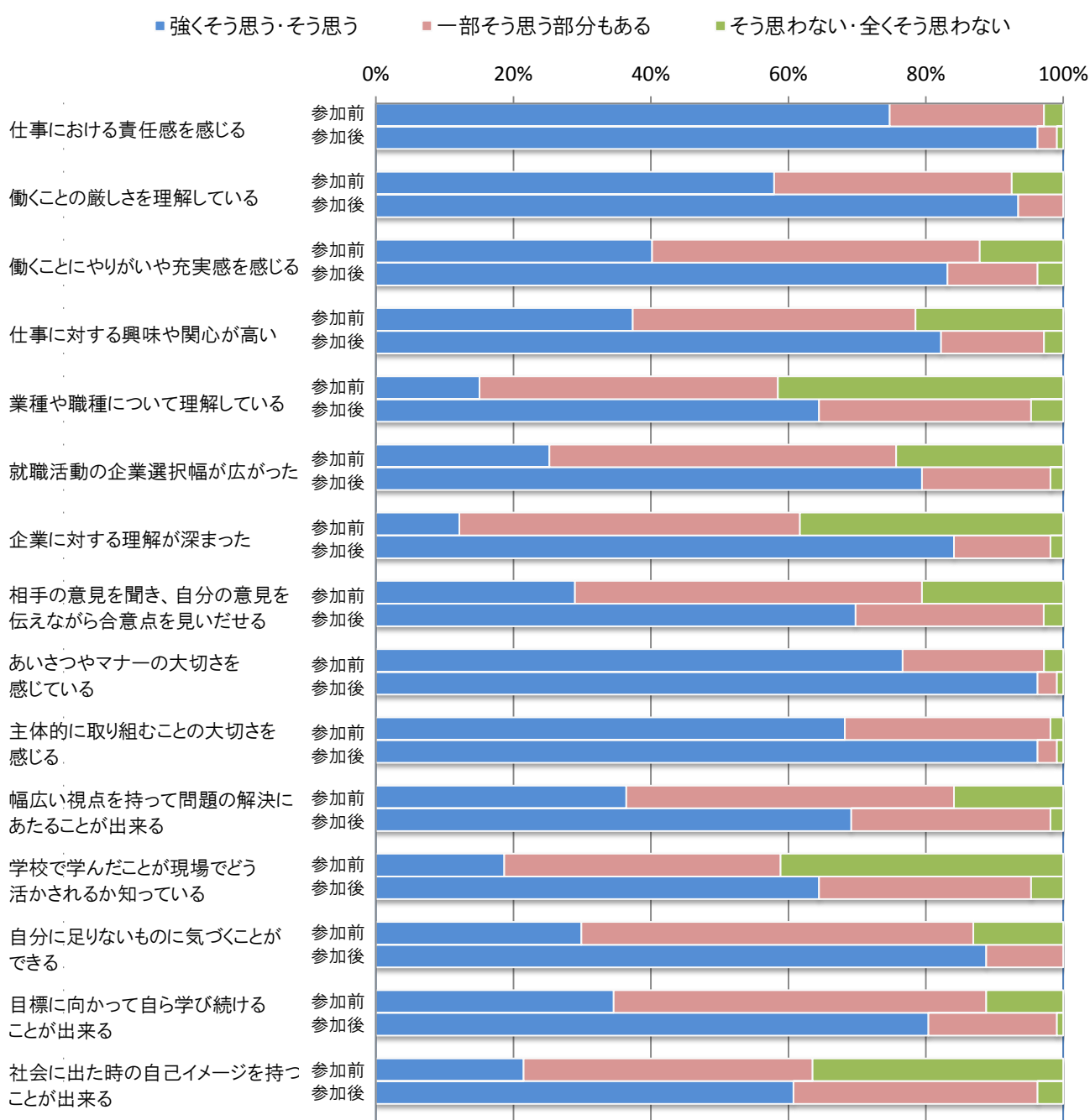
4. 実習先を決めた理由は何ですか。(優先順位3位まで回答)



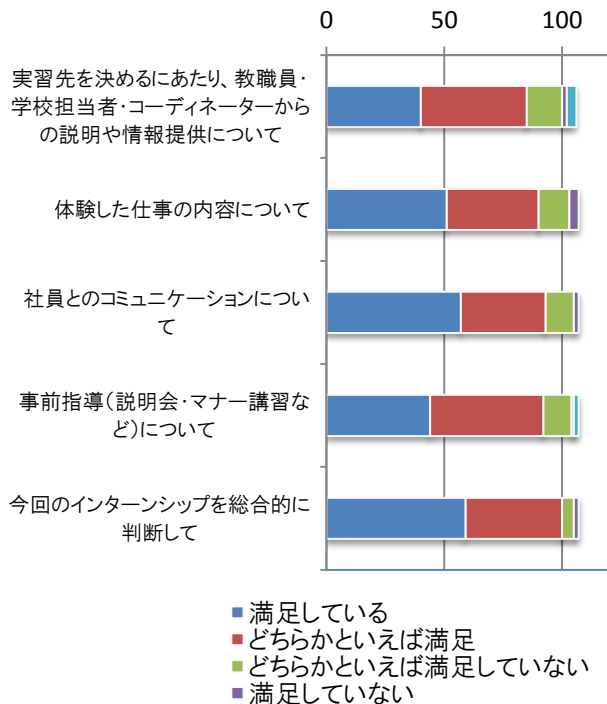
5. インターンシップ参加に向けて行った事前準備を教えてください。

・企業情報をホームページや、会社案内等で収集した	46 件
・実習先企業の通勤手段の確認	9 件
・ビジネスマナーを勉強した	10 件
・身だしなみや、必要なものを準備した	13 件
・実習に必要なと思われる知識の復習や予習など	17 件
・生活習慣の改善を行った(早寝・早起きなど)	3 件

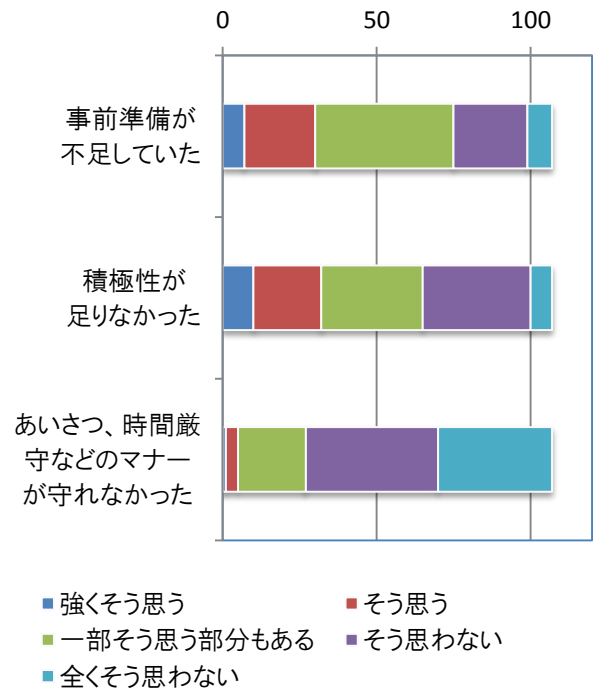
6. インターンシップ参加前と参加後の考え方の変化について教えてください。



7. インターンシップ参加の満足度について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい。



8. インターンシップの反省点について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい。



9. インターンシップ実習で気付いたことについて記入してください。(抜粋)

- ・インターンシップに参加することで企業のリアルな一面が見られるのは良かったと思いました。インターネットなどで見た印象と実際に行くのでは、全く違った印象を受けました。
- ・日頃の学校生活とは全く異なった良い経験ができた。社会人としてのマナーなど、基本的な事を学ぶことができ、自分はまだまだ知らないことが多く、このまま社会に出て行っても通用しないと実感した。技術的なことでも、勉強不足でこれからもっと学んでいきたいという意欲がわいた。
- ・学生として扱って下さるので甘えてしまうが、事前準備が不足していたことを強く感じた。見学する場面が多かったのでそういった事前の準備や積極性が必要であったと強く思った。敬語が思った以上に出来ていなかったと思う。
- ・就職したいと考えている職種とは違ったが、逆にそれが就職活動における視野が広がったと感じている。全く興味のなかった鉄鋼業であったが、工場見学や実習などを通して興味がわいた。
- ・交通の便をもう少し考えてインターンシップ先を考えた方がよかった。
- ・中小企業であれば社員の方もとてもくれた感じで話して下さったり、小回りが利くので様々な体験をさせていただいたりする。大企業も良い点はあるかもしれないが、一長一短であろう。初めてのインターンシップであれば近所の中小企業をすすめる。短期間でも、幅広く良い経験が出来ると思われる。
- ・自分がどうしてここにインターンに来たかの目的をもっていたほうが自分の能力向上につながると思った。また、自分から積極的に質問していかないと何も教えてもらえない気がしました。

10. 実習での感想、後輩へのメッセージ等(抜粋)

- ・学校の演習授業でやる機械の動かし方や加工法などは決して無駄にならない！
- ・インターンシップは体験しないと分からないことが必ずあります。面倒くさいなどその時の気持ちで受けないなど、後で後悔して欲しくないで受けることをすすめています。
- ・単位のために勉強するのではなく、社会に出た時のために勉強をしてください。インターンシップで自分の力不足に気付くと思います。
- ・インターンシップ研修中は常に、「自分が何故インターンシップを受けたのか」という目的を頭に入れ、意識しながら研修を受ける。
- ・情報紙やネットなどで見る印象と違うことが多かったので、迷っているなら絶対に行ってみるべきだと思います。社会人のリアルな話が聞けたりするので、今後の就活に役立つかもしれせん。
- ・自分から積極的に行かないといけないなと思った。待っていると何も得られない。
- ・学科が違っても問題ありません。楽しい実習でした。
- ・私は交通費や宿泊費の手当の無い企業に参加してお金はかかったが、自分が行きたい職種の企業だったので、得られたものは大きかった。インターンシップ先を決めるときは手当や場所に左右されず、自分のやりたいことができる企業を選んでほしい。
- ・インターンシップは慣れない場所に行くために、苦勞も多いものです。しかし、その苦勞を経験しなければ見えてこないものが必ずあります。皆さんは将来に対して期待そして不安を多く抱えていることと思います。そうした思いをインターンシップによってより具体的な行動に変えてみてはいかがでしょうか。私も社会人になるにはまだまだ未熟な人間ではありますが、今回のインターンシップで学んだことを今後の生活に活かして立派な社会人になるように努力します。皆さんも積極的に社会と交流してご自身を見つめなおす機会を持ってみてはいかがでしょうか。
- ・大学で学んでいることが、将来にどうつながっているのか、実習前は分からずに、意欲が失われかけていたが、実習で考え方が変わった。話を聞いていると、難しいことでも基礎にあるのは、大学などで学ぶ知識であった。これによって、今自分がしていることと、将来のつながりが明確に見えてきた。
- ・院に行く予定の人も、インターンシップに行っても損はないと思います。
- ・中小だからできることや中小企業でも大企業とのつながりがあるなど、インターンシップに参加する前に思っていた中小企業の見方が変わった。自分の興味のある業界とつながりがあるという理由で実習先を選んだが、インターンシップに参加し、工具もつくってみたことを通して、企業の選択の幅が広がったと思う。
- ・自分が将来、何をしたいのかわからなくても、インターンシップに参加することは有用であることが分かりました。もちろん、将来のビジョンがはっきりしている人が興味のある企業に行くのも大事だと思いますが、将来、何をしたいのかわからない人こそ、インターンシップに行くべきではないかと私は思いました。
- ・インターンシップに参加したことで、企業の中で大学での知識がどのように活かされているのかわかることが出来て非常に満足した。後輩達へのメッセージとして、悩む前にまず参加してほしいと言いたいです。

- ・「学校の代表として行く」という気持ちを持って臨んだら良いと思う。
- ・中小企業はならず1回参加した方がいい。本当に親切に教えてくれる（色々、会社の話だけじゃなくて、社会について、人間についても）
- ・就活前に行った方がいいと思います。働くことややりたい事の具体性が見えます。
- ・自分の専攻とは少し異なる業種でも、実際に働くことで企業選択の幅が広がったように感じます。実習中は自分だけの判断で動かず、必ず実習先の方に確認を取ってください。また、初めは慣れないか環境・経験で戸惑うことも多いと思いますが、時間やマナーに気をつけ、コミュニケーションを大切にしよう心がけて下さい。
- ・インターンシップに参加することで、自分の知らない業種について知ることができ、また知っている業種であっても、より詳しい情報を得ることができるため、自分の就職先を幅広い視野で検討することができるようになると思います。私が今回参加した企業の業種は機械部品製造加工で、もともと私が就職先として考えたことはありませんでしたが、今回のインターンシップによって、価値観を変えることができたように思います。また、実際に働いている方々と実習を行うことができるため、その方々が普段何を考えながら仕事をしているのかについて知ることができるという点で、インターンシップに参加することはとても有意義だと感じました。
- ・インターンシップは2つ以上行くことをオススメする。あとは、自分の希望している職種以外の業界に行った方がいい。
- ・面接の時点で複数の企業に行って、そこが本当に自分に合っているのか見極めるべき。インターンシップは長期の就職活動のようなものだから、1社などに絞って妥協すべきではない。